

# 平成28年度佐世保市立学校給食検討委員会

## 議 事 要 録

- 日 時 平成29年2月23日（木） 午後7時から8時45分
- 場 所 佐世保市学校給食センター 研修見学室
- 出席委員 水江委員 松野委員 長富委員 古田委員 中村委員 三木委員  
松永委員 角委員 野中委員 9名
- 欠席委員 楠本委員 塚本委員
- 事務局 西本教育長 池田教育次長 中原教育次長兼学校教育課長 迎学校保健課長  
佐世保市学校給食センター中尾所長 末川 岸川 江湖
- 教育委員 久田教育委員
- 傍聴者 なし
- 会次第
  - 1 開 会
  - 2 教育委員会あいさつ
  - 3 委嘱・人事発令
  - 4 議 事
    - (1)「学校給食における食物アレルギー」について（報告）
    - (2)「平成29年度給食費」について
    - (3)「給食調理施設の現状と課題」について（報告）
    - (4) 意見交換
  - 5 事務局からの連絡事項
  - 6 閉 会

---

### ◆議 事

【会 長】 これより議事に入る。まず、会議の成立を確認する。

それでは、会次第で、学校給食における食物アレルギーについてが議事の一つ目となっている。  
事務局からの説明をお願いする。

【事務局】 説明に入る前に資料の確認を行う。

※ 本日の資料1～資料13の確認

【事務局】 資料1から資料3の説明。

それでは資料に基づき説明をする。

○資料1：佐世保市立学校給食検討委員会条例

○資料2：佐世保市立学校給食実施方針

○資料3：アレルギー疾患対策基本法

【事務局】 資料4から資料7の説明。

それでは資料に基づき説明をする。

○資料4：学校給食における食物アレルギー対応マニュアル【改訂版 第2次】

○資料5：平成28年5月 食物アレルギー状況調査

○資料6：平成28年度 アレルギー事故報告書集計

○資料7：新旧対照表「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル【改訂版 第2次】

【会長】 事務局から、ただいま今年度の佐世保市における児童生徒の「食物アレルギー状況調査」、「アレルギー事故報告書集計」及び「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル【改訂版 第2次】」の使用状況等についての報告をいただいた。事務局からの説明に対しての皆様のご意見を乞う。

【委員】 誤配膳というのがある。この件は校長会の中でも話題にし、教育委員会からも来ていただき指導をしてもらいながら、29年度は誤配膳がないように慎重に対応し、改善していきたい。

【事務局】 28年度から新しく改訂したマニュアルを使って各学校、給食センターに対応してもらっている。このマニュアルを作成する際には、アレルギー研究部会などに意見を頂戴して27年度1月頃に完成し、その後、校長会やいろいろな形で学校に周知させていただいた。時間が限られた中ではあったが、養護教諭や栄養教諭などを通してこの資料により各学校での調理や配膳あたり、いろいろな対応、起きて欲しくはないが緊急時の対応について説明をしてきたところである。やはり、初年度ということもあり、時期的に見ると6月頃に発生しているが、周知が十分であったのか私どもも反省しているところである。当然この件については、各小中学校の校長会、教頭会、さまざまな研修会も予定しているので、こちらを通じて、改めてマニュアルの徹底について図っていききたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

【会長】 ほかに意見はないか。たくさん資料があるので、お気づきの点があれば、後日、事務局に問い合わせさせていただきたい。

続いて、議事の二つ目の「平成29年度給食費」について説明をお願いします。

【事務局】 資料8の説明。

それでは資料に基づき説明をする。

○資料8：平成28年度学校給食費について

【会長】 事務局から、ただいま平成28年度の学校給食費の現状について説明をいただいた。事務局からの説明に対しての皆様のご意見を乞う。

【委員】 今の説明が切実にわかるが、今年度は特に2月、3月をどうしようかと頭を随分悩ませた。結局対応したのが、回数を減らすという対応をとった。

【事務局】 学校の行事回数や、その時の食材の値段などで、悩みつつ数字をにらみながら2月3月の給食を行っていると聞いている。私どもでは、学校給食法栄養摂取基準による標準的なもので、子ども達の発育発達段階に応じたもので、実際の値段や実績の数値、上げ幅、変動率をいろいろ参考にし

て、28年度給食費を決めたところである。ところが、皆様のご意見を聞くと、値上げをしたほうが十分な食材を求めることができる状況もあるが、一方で、その金額をご負担させることは中々厳しいこともある。両面を見て悩んでいるが、学校内の行事で、野外活動、弁当の日を設けられたり、給食を実施する回数をどうするかは学校長に委ねられているところもあると思う。ここでは標準的な計算でしているが、特に天候に左右される野菜等の値段は難しく、28年度は熊本地震の影響で九州管内で野菜を求められず、国産を求め値段が若干高騰した。また6月7月の長雨で種物苗物が流されたり、作物の出来栄が良くなかったこともあった。冬場は燃料費の高騰で経費が余計にかかったと、生産者の方や市場農協の方から耳にした。そういった中で、栄養教諭の方が一番悩まれたと思うが、緑黄野菜については、いろいろな種類の物を食べさせたいが、高い物を安い物で補えないかと食材を変えたり、使用量を若干減らして、ほかの物で補ったりしたところである。そういった中で、現状の3,700円を超えないように努力されたと切実に感じている。ぜひ今後とも、できれば給食の回数とかいろいろな食材を使い給食費を考えたいと思うが、一方でご負担をされている方もいるので、両面を聞きながらこれから考えたいと思う。

**【副会長】** 中学校の中には月額4,300円で、3月の調整月が、一番食数が多かったところで3,800円ということで、4,300円以内で収めることができたので非常に良かったなと思っているところだが、県の物資委員会でも、パンとか米飯の素材や冷凍食品の食材の価格が上がってきているという状況もあって、改めて学校給食の献立の充実とか内容の一定の維持とかを考えるのならば、今でも献立を立てるのに苦労されているのではないかとと思われるが、現時点では食材の根本的な値上がりの部分については、なかなか厳しい対応が迫られているのではないかとと思われるので、そういったところを含めて、ある程度の値上げというのもしやむなしかなと感じているところである。

**【会 長】** ほかに意見はないか。

**【委 員】** 去年から今回2回目の出席で、給食のそもそもの基本的なことを知らないのでは、お伺いするが、献立の自由度とかは各学校に任せられているのか。

**【事務局】** 佐世保市では献立が複数に分かれている。この佐世保市学校給食センターで賄う15校の分とそれ以外の小学校等自校方式、もう一つ鹿町江迎学校給食センターと、大きく3つに分かれている。それぞれに、献立委員会があり、その中で決定している。その献立委員会の委員には、保護者、校長、栄養教諭、給食関係担当者、献立を作成する栄養教諭と学校保健課の職員が参加している。基本の献立は、栄養摂取基準をもとに、さまざまな種類の食材を食べる機会を設けるのが必要で、食育の考え方にもなり、原案は学校の栄養教諭が作り、同じものとならないよう、いろいろな物を食べさせるよう、献立委員会で決定後、各学校へ教育委員会からお知らせをし、それによって実施してもらっている。

**【委 員】** 例えば、小・中学校によっては、この日は献立を無しにすればお金が浮くからという調整は、各学校でされるのか。

**【副会長】** 意識的にやったのは、センター方式にありました。一番最初の年の9月から始まりました

が、その時は中々うまく学校の方で調整ができなかったもので、やはり食数を減らさないと3月の調整は難しいかなというのがあったが、もともと年間の行事が決まっているので、だいたい想定されているよりも学年によって、修学旅行が入っている学年とか野外宿泊が入っている学年ところは必然的に行事等で削られていくので、特に3年生は卒業式で早く終わるし、全体の食数というのは考えていきながらやるといふ部分と、弁当の日を設けるかたちでやっていくというのがある。お金を浮かすことだけを目的として安易に食数を削っていくというのはしていない。行事に関わってと捉えていただければと思う。

【委員】 調整ができるわけか。

【副会長】 食数で。給食の実施回数、例えば遠足の時は当然弁当にするから、そういう形での調整がある。

【委員】 給食というのは、このお金で全部賄われているのか。例えば市からの補助とかは。

【事務局】 給食については、保護者にご負担いただいているのは、食材そのものと、一番最後に雑費と書いてあるが、児童生徒が使う服とか、衛生的に拭き上げたりするものが雑費として頂戴しているけれども、その他の給食調理室、調理器具、調理員の人件費など、佐世保市の負担になっている。基本的に、ほとんどが食材のみとなっている。

【会長】 ほかに意見はないか。

【委員】 献立委員会が複数あるが、献立の差はあるのか。献立の差によって給食費の差は出てこないのか。それとも、回数とか食数だけの問題なのか。

【事務局】 献立の差はほとんど無いかと思う。ちなみに、ここの佐世保市学校給食センターはAとBという献立があるが、月を見ると、ほとんど同じ物を入れ替えているだけである。だから、ここは全く差は無いとあっていい。自校方式もABCとあるが、それぞれ栄養教諭・学校栄養職員がおり、市教委管理栄養士がチェックしているが、金額的にも小学校1食220円と決めているし、栄養価も決まっているので、差というのはほとんど無いかと思う。

【委員】 過去、そういう調整をされてプラスマイナスいくらかぐらいの実績があるのか。

【事務局】 学校、学年で差が出てくるのは、先ほど言われたように、小学校1年生は入学式後の1週間給食が無いのを3月で調整する等、また、中学3年生は早く卒業する等がある。修学旅行とかいろいろな行事で学年差はかなり出ている。学校の差というのは、どうしても小規模校のほうが高くなる。その理由として、小分けができる食材、できない食材がある。調味料関係が難しい物が多い。小規模校には、このような負担が掛かっていると思われる。

【委員】 大規模校が余裕があって、小規模校が赤字になりやすいというのは調味料関係もそうである。食数にg数を掛けるので、例えば500人の学校であれば、3g使うとなったら1.5kgというところを、520人になればもう少し上がるので、そこが繰り上がるか繰り下がるかによって単価が変わってくるので、そこのプラスマイナスでも、学校によって差が生じてくるので、年間を通せば結構な額になってくると思う。

【事務局】 冷凍品もそうである。数物等、10個入りが1袋というのは、小規模校は例えば35人だ

から10個入りを4袋で5個余ってしまう、それを負担しなければならない。他に天候不順によってすぐ上がる時がある。その時に、たまたま高い物を入れていたブロックはどうしても価格が上がること等が考えられる。

【会 長】 給食費以内で収めるのはなかなか難しいかと思うが、収まらなかった時は、例えば別の月に少し献立を変えたりとかすることで調整をされているのではないかと思うので、今後、そういったところを含めて、検討していかなければいけないと思う。

活発な意見が出ているが、次に進めさせていただく。

続いて、議事の3番目、給食調理施設の現状と課題について報告をお願いします。

【事務局】 資料9～資料10の説明。

それでは資料に基づき説明をする。

○資料9：学校給食のあり方（佐世保市学校給食調理施設の現状と課題）

○資料10：学校給食施設・設備の改善事例集（文科省資料抜粋）

【会 長】 事務局から、ただいま給食調理施設の現状と課題について報告をいただいた。事務局からの報告に対しての皆様のご意見を乞う。

【委 員】 今の説明と課題の取りまとめを見ていると、老朽化した古い施設、手狭な施設は、センター方式に変えた様に思えるが、問題があるのか。

【事務局】 給食実施方針の中で、基本計画が3ページに出ている。1番目に、「佐世保市立小・中学校において学校給食を食育の生きた教材として活用します。」、2番目に4ページになるが、「安全・安心で、食育の実践ができる給食調理施設の整備を進めます。」と書いてある。この中で4ページの一番下に、平成24年度供用開始を目標に、すべての市立中学校で完全給食を実施するための施設として学校給食センターを整備しますと、これは15の中学校のことになるが、5ページのところ7行目に、「また、小学校等既存の調理施設については、現在の調理方式を継続しながら、施設の老朽化等を勘案し、中・長期的に学校給食センターへの集約化や既存施設改築などの施設整備の検討を行っていきます。」と書いてある。また、集約化にあたっては、下の方に書いてあるが、区域内の小・中学校の給食調理・配送を行うことになれば、配送時間は30分程度を目安とし、適温での給食配送が困難な地域等では、自校方式または、近隣の学校との親子方式での実施もあわせて検討します。こういったことを踏まえて、検討が必要である。今後さらに詳しい内容について事務局のほうからお示しし、センター方式であればどうなるのか、自校方式であればどうなるのか、地域的なエリア的なものであったり、場所によっては校舎建物、通路、トラックが通れるかどうか、いろんな問題が出てくるので、そういったこと条件をお示し、実施方針の5ページを元にしながら皆様のご意見を頂戴できればと考えている。

【会 長】 ほかに意見はないか。

【会 長】 時間もせまってきたので、ここで意見をとどめさせていただく。

今回、様々なご意見が出たが、事務局からの報告によって学校給食の現状等が把握できたのではないかと考えた。学校給食における食物アレルギーに関しては、改訂されたマニュアルにより細やかな

対応が可能になったと感じられるし、それから給食費に関しては、さまざまな規制のある中で、今後の調整が必要であると思った。それから、学校給食調理室の現状と課題においては、ハード面ソフト面の現状を把握していただいた上で、今後皆様からのいろいろなご意見を頂きながら、学校給食の課題解決に向けて取り組んでいく必要があると考えている。委員会の中で、質問、意見いろいろと反映されて、安全で衛生的で、楽しい給食に繋がることを期待している。

本日の意見を参考に、事務局のほうで課題等の解決に向け事業を進めていただきたいと思います。それでは、本日の議事を終了する。

◆事務局からの連絡事項

今後、経済界や商工関係者からもご意見を頂戴したく、委員数を増やしたいと考えている。  
(委員了承)

◆閉会

— 了 —